

指定校番号	28060	学級活動	○	児童会・生徒会活動		学校行事		別紙様式
-------	-------	------	---	-----------	--	------	--	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原小学校	校長	小田原 まゆみ	生徒指導主事	山藤 弘基
-----	-----------	----	---------	--------	-------

取組事例名 『構成的グループエンカウンター』

取組のねらい『キーワード だれでもできる人間関係づくり』

構成的グループエンカウンターは、ねらいをよく理解すれば、初心者の先生でもどの先生でも十分行うことができます。学級での人間関係が、自己理解・他者理解・自己受容・感受性の促進・自己主張・信頼体験と高まっていくように用意されており、クラスの実態に合わせて選んだり、作りかえたりすることができます。そして、人間関係づくりに有効な活動です。

本校の実態として、経験が浅い教諭が増えてきており、学級内でのトラブルが増加傾向にあるという課題があります。そこで、どの学級においても円滑な人間関係づくりができるようにし、学級間格差をすくなくしていくことをねらいとしてこの構成的グループエンカウンターに取り組んでいきました。

取組の具体的内容『キーワード 月に1回以上の構成的グループエンカウンター』

2学期の構成的グループエンカウンター計画

	1 年	2 年	3 年
9月	〇〇とじゃんけん	じゃんけんインタビュー	この指とまれ
10月	どきどきをかじよう	この指とまれ	この指とまれ
11月	いまだどっちむいてるの？	何をえらびますか	じゃんけんインタビュー
12月	テレパシーをキャッチ	何をえらびますか	ホメホメクラブ

	4 年	5 年	6 年
9月	じゃんけんインタビュー	じゃんけんインタビュー	連想ゲーム
10月	なんでもバスケット	じゃんけんインタビュー	聴く聴かない
11月	きみはどっち	ブラインド・デート	何をえらびますか
12月	いいとこさがし	何をえらびますか	みんなでリフレーミング



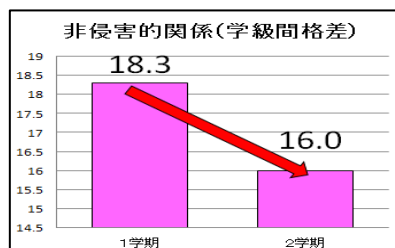
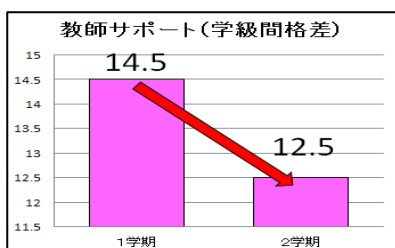
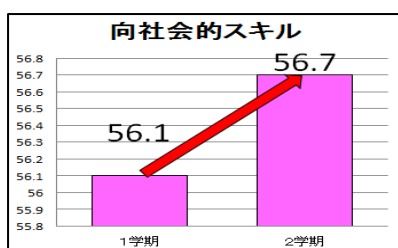
夏休みに、学年・学級の実態に応じて計画を立て、月初めの学級活動の授業の半分を使って実施しました。内容については、児童の変容や実態に応じて計画をしましたが、まずは、どの学級も児童の自己理解・他者理解・自己受容を目的に計画しました。また、回数についても月に1回は行うこととしましたが、多くの学年で1回以上行いました。児童からの要望も多々ありました。

取組の課題・創意工夫『キーワード 組織的に定期的に』

月に1回、確実に構成的グループエンカウンターを実施できるように、実施前に学年主任が学年全体に声をかけ、実施後には、学年会で実施報告を行いました。さらに、学年会でまとめた報告を学校経営会議で情報交流し、組織的で定期的な取組にしました。

取組の成果（効果）『キーワード 学級間格差の減少』

アセス（学校環境適応感の測定）と1学期の結果と2学期の結果を比較してみると、向社会的スキル（友達の援助や友達との関係をつくるスキルをもっていると感じている程度）の数値は、56.1ポイントから56.7ポイントに上昇しました。また、教師サポート（担任との関係が良好だと感じている程度）の学級間格差は14.5ポイントから12.5ポイントへ、非侵害的關係（拒否的・否定的な友だち関係がないと感じている程度）の学級間格差は18.3ポイントから16.0ポイントへ減少しました。数値的にも、学級間の格差が少なくなっていることが分かります。



各学年からの実施報告

- 〈1年〉自分との違いや共通点を見つけている。友達が優しくしてくれたのでうれしかった。友達の温かさを感じた。楽しんでいる。
- 〈2年〉あまり話したことがない友達と話すことができた。とても喜んで楽しんで行っている。次回は、今までとちがうエンカウンターをしたい。
- 〈3年〉意外な事実が分かって、また、したいという意見が出た。3年生全体でもしてほしいという希望がある。
- 〈4年〉ルールを守って楽しんで行った。行ったことを生活に生かしていきたい。
- 〈5年〉人間関係づくりができた。友達のことを深く知り、友達との共通点を知ることができた。
- 〈6年〉話していても、認めもらえる安心感があるので、楽しんで行っている。たくさんの人とかかわれて楽しかったようだ。同じものを選んで理由がちがうことに気付いていた。常に笑顔で行っていた。

今後の展開『キーワード 研修』

さらなる学級間の格差を減少させるために、グループエンカウンターの実践交流を行います。さらに、アセスの結果が1学期よりさらに上昇したクラスや児童の反応や保護者の反応がとても良かったクラスについて実践事例を具体的に紹介するなど、より実践的な研修を行います。

他校へのアドバイス『キーワード 涵養』

即効性のあるものではないですが、水が自然に染み込むように、無理をしないでゆっくりと繰り返し行うことで効果が表れてくると考えています。ねらいをよく理解して粘り強く楽しんで行うことをおすすめします。